

先輩移住者のひた暮らし 2021.1

スコット レイモンドさん 優香さん夫妻

令和2年5月 アメリカから移住

移住のきっかけ

2年前の3月に出会い結婚した私たちは、日本で一緒に暮らす場所を探していました。二人とも福岡に住んでいた経験があり、良いイメージを持っていたので福岡で物件を探し始めましたが、なかなかいい物件が見つかりませんでした。そんな中、ネットでたまたま現在住んでいる物件を見つけ、日田市への移住を決めました。



日本文化・歴史を知るのに数々の欄間のデザインは非常に面白い



新たに壁を作った際、再利用したガラス窓

住まいについて

住んでいる家は空き家バンクに登録されていた築100年を超える古民家です。昔ながらの大きな梁や有田焼のタイル、精巧な欄間やふすまなど魅力的なところがたくさんありました。

リフォームにあたり、たくさん残っていた家財道具は所有者にお願いして処分してもらい、それからは掃除やDIYの日々です。隙間風が入ってこないように断熱材を入れたり、障子部分をガラスにするなどしました。自分たちでできないところはリフォーム業者に依頼し、照明の取り付けや、壁や床のペンキ塗りなどは自分たちで取り組み、コストを抑えました。

昔の建具など活用できるものは活用し、昔の良さを残す工夫をしました。

移住後の生活

日田市は初めての土地でしたが、住んでみると街がコンパクトで買い物も便利です。

夏の暑さや冬の寒さ、豪雨や降雪とこの1年で様々な体験をしたことから、長く暮らしていける場所だと感じています。

近所を歩いていると、旬の野菜をいただくなど親切な方が多い印象です。コロナの影響もあり、地域の方との交流は控えています。落ち着いたらいろんな方との交流を楽しみにしています。

今後の目標

家の片づけが落ち着いたら、これまでの経験を生かした職種専門の、通訳の仕事もしていけたらいいなと考えています。



業者さんが見つけてきてくれた、日本庭園を眺めるのにちょうどいい窓

日田市の支援制度

スコット夫妻は、こんな制度を活用しました。

移住体験支援事業

日田市への移住を本気で考えている方が、家や仕事を探す際の宿泊費を補助する制度です。地域の人と交流したり、生活環境や空き家バンク物件を見学したいという時も使えます。市内の旅館やホテルなどの施設が対象です。
(一部対象外の施設もあります、詳しくはHPをご覧ください)

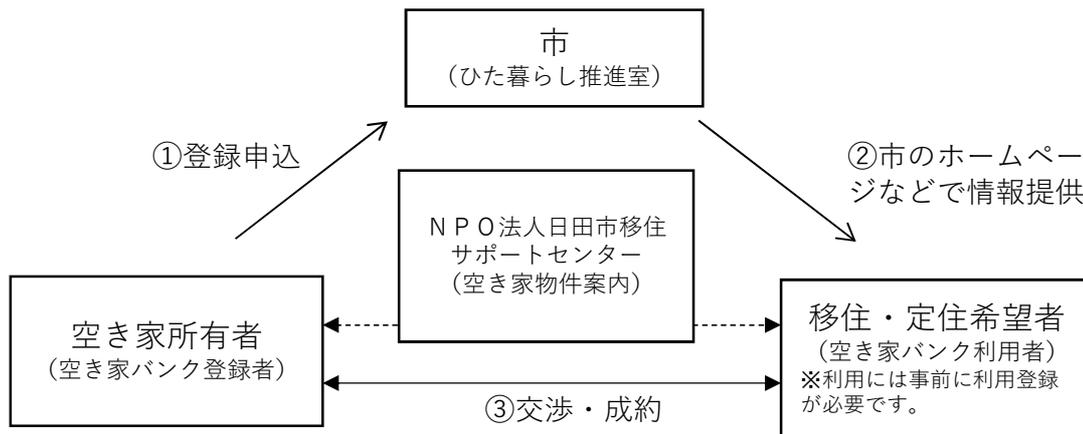


1泊 上限7,000円（世帯4名まで）最大2泊まで

空き家バンク

空き家所有者が登録することで、移住・定住目的で空き家を探している希望者へ紹介する制度です。掘り出し物件があるかも。

利用の流れはこちら



登録物件一覧はこちら



移住者ひた暮らし支援事業

登録された空き家バンク物件に移住する方に対して、入居に係る費用を補助する制度です。
※諸条件があります。



対象者	補助内容	補助額	補助率
移住者	仲介手数料	5万円以内	10/10以内
	家財の処分	10万円以内	
	情報通信環境整備	4万円以内	
	空き家の購入	100万円以内	1/2以内
	空き家の改修	50万円以内	2/3以内
	引越し料	20万円以内	